

HQ-7006_ml ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは、以下の車種に対応します。
・阪急7000系京とれいん雅洛(2021年発売)
本キットは、トレーラー車専用です。
動力ユニット付き車に使用すると、チラツキ対策を施していないため、前進時にテールライトが、後進時にヘッドライトが、チラチラと点灯してしまいます。

！ 注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

- ・ヘッドライトユニット : 1個/セット
- ・テールライトユニット(兼通過標識灯ユニット) : 1個/セット

【その他】

- ・説明書(本紙) : 1枚
- ・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

- ・カッティングマット
- ・ピンセット
- ・ニッパ
- ・プラスドライバー
- ・両面テープ
- ・木工ボンド
- ・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)
- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)
- ・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ポンチ(ブッシュピンなどでも可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・遮光用の塗料(黒及び銀)

●取り付け手順

1. 分解する			
1-1 床板を外す	1-2 パンタグラフを外す	1-3 屋根を外す	1-4 側窓を外す
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	パンタグラフを、脚をボディ内側から楊枝などで押して、外します	屋根は、まず連結面側を外します。中央寄りのフックを外し、次に端寄りのツメを押して、屋根後側を外します。次いで、運転台側も同様にフックとツメを外し、先端のフックを後ろ側に抜き取るように、屋根前側を外します。	側窓を、前面透明パーツとの噛み合部をコジって外します。
2. 車体を加工する			
(1-4つづき)	1-5 前面透明パーツを外す	2-1 屋根を加工する	2-2 ヘッドライト周辺を遮光する。
妻窓が自然に外れますので、紛失しないように注意します。	前面透明パーツを、ライトベゼルとの隙間を精密ドライバーなどでコジって外します。ライトベゼルは外しません。	屋根板先端中央のアンテナ取り付けのガイド穴の突起を削り取ります。アンテナは事前に取り付け、破損しないように保護しておきます。	屋根板をはめます。
			屋根と車体の隙間を、木工ボンドで塞ぎます。楊枝などを使って、少し盛り上がりが出るくらいに塗り、屋根先端のフックの周りも入念に塗ります。その後完全に乾燥させます。
	2-3 前面透明パーツを加工する	2-4 側窓を加工する	
ヘッドライト周辺のボディ内側、及びレンズの穴の中を銀の塗料(エナメルを推奨)で遮光します。	前面透明パーツを、上部のリップの下側、下部のリップの上側で切断し3分割します。尾灯・標識灯部分は使用しないので保管します。	ヘッドライトレンズは、写真の位置にある横線で切り取ります。下のリップの部分は使用しません。	側窓前部の上下を、乗務員扉窓の中央より前側、上辺・下辺より約1mmを切り取ります。
3. 床板を加工する			
2-5 スカートの加工	3-1 床板を加工する	3-2 シートを加工する	4. ライトユニットを取り付ける
スカートの両サイドのツメのうち、窪みより上の部分を切り取ります。固定は、ダミーカバー脚受け部のツメを利用し、ゴム系接着剤を併用します。	ライトユニットと干渉するので、床板端部の両側の突起を削り取ります。	シート前部の幅の広がっている部分(約2mm)をカットします。	3mm×5mmのポリエステルテープを用意し、屋根板先端のフックの内側、屋根板からレンズの穴の真下まで貼ります。
			2mm×4.5mmのポリエステルテープを2枚用意し、屋根板先端のフックの両側、屋根板とボディの間に貼ります。

(4-1つづき)	4-2 ヘッドライトレンズをはめる	4-3 ヘッドライトユニットの取付	4-4 ヘッドライトユニット下側を遮光する
天井裏への光漏れを防ぐために、4mm×15mmポリエステルテープを、天井から屋根にまたがるように貼ります。	ヘッドライトレンズをはめ、両面テープで固定します。	ライトユニットをはめ、両面テープで固定します。	3mm×10mmのポリエステルテープを、基板と妻面の間に貼ります。
			次いで、3mm×6mmのポリエステルテープを2枚用意し、前項の左右、ライトユニットのツバと妻面、乗務員室扉上の間に貼ります。
5. 配線する			
4-5 前面窓ガラスをはめる	4-6 テールライトユニットの取付	5-1 側窓をはめる	5-2 ヘッドライトへ配線する
前面窓ガラスをはめます。この段階で点灯テストを行い、光漏れがある場合は、ポリエステルテープを重ね張りするなど対策を施します。	テールライトユニットをはめ、両面テープで固定します。	妻窓をはめ、次いで側窓をはめます。	ヘッドライト給電パッドの通電の確実を期して、3mm×5mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。
		1.5mm×約30mmのアルミテープを使って、ヘッドライトの給電パッドから側窓下まで配線します。余ったテープは切り捨てます。※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	
5-3 テールライトへ配線する	5-4 側窓下の凸部にアルミテープを貼る	5-5 側窓下をアルミテープで結ぶ	
1.5mm×8mmのアルミテープで、側窓下部からテールライトの給電パッドまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	床板との嵌合部の凸部に、5mm×5mmのアルミテープを貼ります。テープの先端が車体裾に接するように貼ります。	3mm×112mmのアルミテープを使って、側窓下端に沿って、ライトユニットへの配線、前の嵌合部、後の嵌合部を接続するように貼ります。※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	



●室内灯を取り付ける場合



●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 棧を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
<p>乗務員室仕切り型紙</p>		
0.5mmのプラ板でパーツを作ります。(遮光に適した黒いプラ板を分売しています)	乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の中央に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、後側の切口までL字形に貼っておきます。	乗務員室仕切りを、棧の後側に設置します。

